

匈奴とは？

【戦国時代】

紀元前 318 年、匈奴は韓、趙、魏、燕、齊の 5 国と共に（ ）を攻撃するも、5 国側の惨敗。

【秦】

紀元前 215 年、匈奴は將軍の（ ）率いる秦軍の攻撃を受け、河南の地（オルドス地方）から駆逐される。その後、秦は（ ）を修築して北方騎馬民族の侵入を防ぐ。

単于の（ ）は（ ）および蒙恬の存命中に中原へ侵入出来なかったが、彼らの死後（前 210 年）、再び黄河を越えて河南の地を奪還。



頭曼は太子である（ ）を人質として西の大国である（ ）へ送る。しかし、頭曼は冒頓がいるにもかかわらず月氏を攻撃し、冒頓を殺させようとした。

冒頓は命からがら月氏から脱出して本国へ帰国し、自分に忠実な者だけを集めて頭曼を殺害し、自ら単于の位についた。（単于とは、匈奴の最高権力者のこと）

単于となった冒頓は東の大国である（ ）に早速侵攻してその王を殺し、西へ転じて（ ）を敗走させ、南の（ ）を併合した。さらに冒頓は楚漢戦争中の中原へも侵入し、瞬く間に大帝国を築いていった。



【前漢】

前漢の（ ）が皇帝になった時、前 200 の（ ）の戦いで、劉邦は（ ）に敗れ、匈奴と和平を結び、貢納物を献上するようになる。

冒頓の死後、（ ）が前漢の皇帝に即位すると匈奴への軍事行動が始まり、BC127（ ）率いる前漢軍は匈奴に勝利。また BC121（ ）率いる前漢軍は匈奴に勝利。これらの勝利によって立場が逆転し、前漢に匈奴が人質を送るようになった。

BC102（ ）の大宛遠征により、前漢の西域への支配力が増し、匈奴の西域に対する支配力は低下。

その後、匈奴は西の（ ）に領土拡大を狙い攻撃。しかし烏孫は前漢の同盟国だったため、前漢の救援攻撃を受けて失敗。その後匈奴は烏孫などの周辺国から攻撃を受けて弱体化。

匈奴は、漢に和親を求めるも、匈奴内で内紛が勃発し、前 50 頃（ ）に分裂。（ ）匈奴は漢に服属。漢は東匈奴が服属したことに喜び、（ ）を嫁がせています。（ ）匈奴は、前 36 年に漢に敗れて崩壊。

【新】

（ ）が帝位を篡奪し、新を建国。東匈奴は王莽の異民族統治に反発するも、匈奴内部の問題もあり（ ）に分裂。

【後漢】

（ ）匈奴は漢と南匈奴に討たれたため衰退。その頃出てきた（ ）に大敗。南匈奴は後漢に服属し、魏晋南北朝の五胡（鮮卑、匈奴、羯、氐、羌）の匈奴に。